

1. 科目コード

1233

2. 科目名

情報アーキテクチャ特論 (Advanced Information Architecture)

3. 担当教員

藤原 明生 (Akio FUJIWARA)

4. 開講期

2 年次 春 3 期 (土曜 1・2 時限)

5. 科目の目的・概要

情報システム開発の全体工程を理解し、最上流工程である要求定義フェーズにおける手順、取りまとめ手法、要求定義書の作成方法、などを修得する。また、システムアーキテクチャの重要性を理解し、アーキテクチャ定義の概要を修得する。

6. 科目の学習目標

- (1) システム開発全体のプロセスを説明できる
- (2) 要求定義の目的、手法を理解し要求事項を分析できる
- (3) システム要求事項を整理し概念モデルを作成できる
- (4) 要求定義書が作成できる
- (5) アーキテクチャの重要性を理解し、上流設計プロセスを説明できる

7. 本学の教育目標と科目の学習目標との対応

教育目標			学習目標
高度 ICT スキルの修得	基礎的素養		
	専門知識および業務応用力		(1) (2) (3) (4) (5)
人間力（＝探究力）の修得	自ら強みを磨き続ける力		
	自ら社会における課題を発見し、解決する力	課題設定	(2) (3)
		仮説立案	(2) (3)
		仮説検証	(2) (3)
		実行	(2) (3)
	社会人基礎力	前に踏出す力	(2) (3) (4)
		考え抜く力	(2) (3) (4)
		チームで働く力	(2) (3) (4)
職業倫理の修得			

8. 履修要件

「データベース特論」の学習目標に到達していること
「プロジェクト管理特論1」の学習目標に到達していること

9. 教科書

なし

10. 参考書

書籍名 : 要求定義のポイントがわかる本（第1版（2012/12/9））
著者 : 佐川 博樹
出版社 : 株式会社 秀和システム

11. 評価方法と配点

学習目標	達成度評価方法と配点					
	期末試験	小テスト	レポート	発表	成果物	その他
(1)	○		○			
(2)	○			○		
(3)	○			○		
(4)	○			○		
(5)	○		○			
配点	30		30	40		

12. 備考

本講座は、単に理論を学ぶだけでなく、自ら考え、体験（実践）することによって、応用力を身につけることに主眼を置いている。従って、基本を学び、チームによるディスカッションやプロジェクト管理のケーススタディなどを通じて、実践力の向上を図るとともに、コミュニケーション力、課題形成力、プレゼンテーション力などを養成する。

また、現場第一線で活躍するプロフェッショナルとの交流を通じて、理論と現実とのギャップを実感し、視野拡大を図る。

■ 授業計画

(注)授業計画は、あくまでも予定であり、実施時に、適時、追加・変更・修正等が生じる場合があります。

第1回 オリエンテーション (講義 90分)

本講義の概要を理解する

- (1)オリエンテーション
- (2)アーキテクチャとは
- (3)上流設計の流れ

第2回 要求定義概要 (講義 90分)

要求定義の必要性、手順、要求定義書、など全体の概要を理解する

- (1)要求定義とは
- (2)要求定義の手順と方法
- (3)要求定義書

第3回 要求モデリング (講義 90分)

ビジネス要件、システム化要件を把握し、ユースケース図を使ってモデル化する

- (1)要求モデリングとは
- (2)ユースケース図の作成

第4回 業務モデリング (講義 90分)

ビジネスや業務の流れ(プロセス)を整理し、ビジネスフロー図、アクティビティ図を使ってモデル化できる

- (1)業務モデリングとは
- (2)業務フロー図(ビジネスフロー図／アクティビティ図)の作成

第5回 モデリング演習 (講義・演習 90分)

簡単なシステム化要件(例題)を分析し、ディスカッションしてユースケース図、業務フロー図を作成し、プレゼンテーションを行う

- (1)例題の説明
- (2)例題を分析しユースケース図を作成する
- (3)ユースケース図を理解し、業務フロー図に展開する
- (4)作成したユースケース図、業務フロー図を発表する

第6回 EA(Enterprise Architecture)概要 (講義 90分)

EAの概念を理解し、EAの手法により上流設計の概要を理解する

- (1)EAとは
- (2)EAの構成
- (3)BAの作成

第7回 アーキテクチャ定義 (講義 90分)

EAの手法により上流設計の概要を理解し、全体システムアーキテクチャを定義する

- (1)DAの作成
- (2)AAの作成
- (3)TAの作成
- (4)全体システムアーキテクチャのとりまとめ

第8回 ITアーキテクトとその役割 (講義 90分)

システム開発プロセスにおけるITアーキテクトの役割を理解し、自分が目指す姿をイメージする

- (1)ITアーキテクトとは
- (2)ITアーキテクトの役割と仕事

第9回 ケーススタディ:ケーススタディの進め方と説明 (講義・演習 90分)

ケーススタディとしてRFPを理解し、分析・要求定義・システム提案作成の計画を立案する

- (1)ケーススタディの進め方
- (2)RFPの説明と理解
- (3)提案方針と計画立案(ディスカッション)
- (4)要求分析、課題整理(ディスカッション)

第10回 ケーススタディ:要求定義 ディスカッション (演習 90分)

要求事項・課題を把握し、現状の問題点を抽出し、要求定義を行う

- (1)要求定義(ディスカッション)
- (2)要求リストの作成
- (3)ユースケース図の作成

第11回 ケーススタディ:業務の流れ ディスカッション (演習 90分)

要求定義をブレークダウンし、システム化すべき業務フローを整理する

- (1)業務の流れ分析(ディスカッション)
- (2)業務フロー図(ビジネスフロー図／アクティビティ図)の作成

第12回 ケーススタディ:システム全体アーキテクチャ ディスカッション (演習 90分)

作成したユースケース図、業務フロー図をベースに提案すべきアーキテクチャ定義を実施する

- (1)アーキテクチャ定義
- (2)提案ストーリーの検討(ディスカッション)

第13回 ケーススタディ:提案まとめと発表 (演習 90分)

これまでの検討結果を提案資料(発表資料)としてまとめる

- (1)提案資料(発表資料)の作成
- (2)提案発表

第14回 プロフェッショナルとの交流 (演習 90分)

企業における実現場でのシステム開発事例を学び、理論と現実のギャップを認識する

- (1)企業におけるシステム開発事例の紹介
- (2)ディスカッションと気付きの整理

第15回 まとめ (講義 90分)

これまで学んだ事との確認とまとめ

- (1)要求定義、上流設計のまとめ
- (2)「学んだ事と目指すべき情報アーキテクト像」の整理(レポート作成)
- (3)総括

第16回 テスト (講義 90分)

- (1)確認テスト